

国勢調査ギャラリー

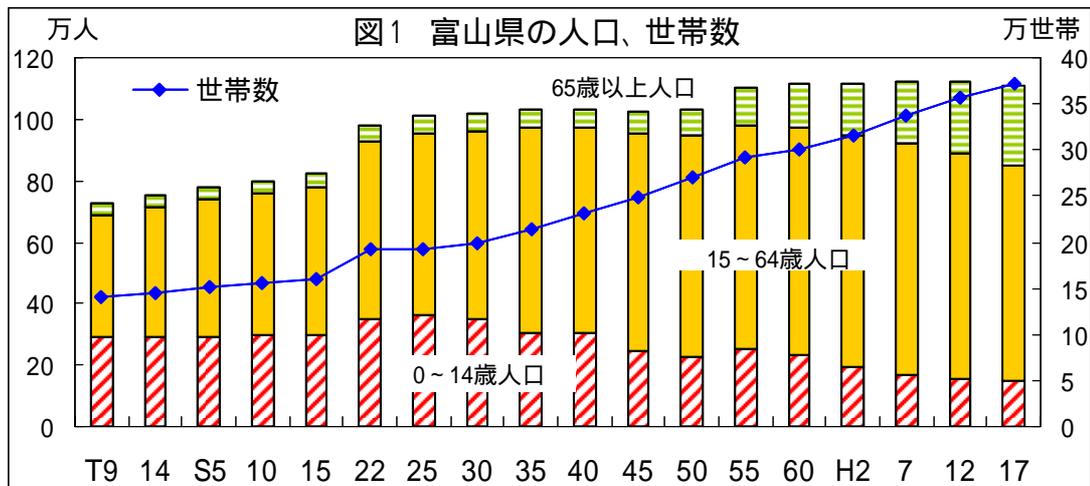
平成22年4月2日

国勢調査でわかることーその1ー

国勢調査はさまざまなデータが得られる調査です。そのデータは、国や地域社会の姿を知るために、手軽にみることができます。今年10月に実施する平成22年国勢調査では、どのようなことがわかるのでしょうか？これまでの国勢調査でわかることをご紹介します。

1 富山県の人口、世帯数

富山県では、毎月、国勢調査を基にした人口推計を公表していますが、図1は国勢調査のみのデータです。人口構成をみると、0～14歳人口が減っており、65歳以上人口が増えているのがはっきりと読み取れます。



2 データから見る！～もし富山県民が100人しかいなかったら・・・～

もし、富山県民が100人しかいなかったら、いったいどうなっているのでしょうか？

【男女の割合】

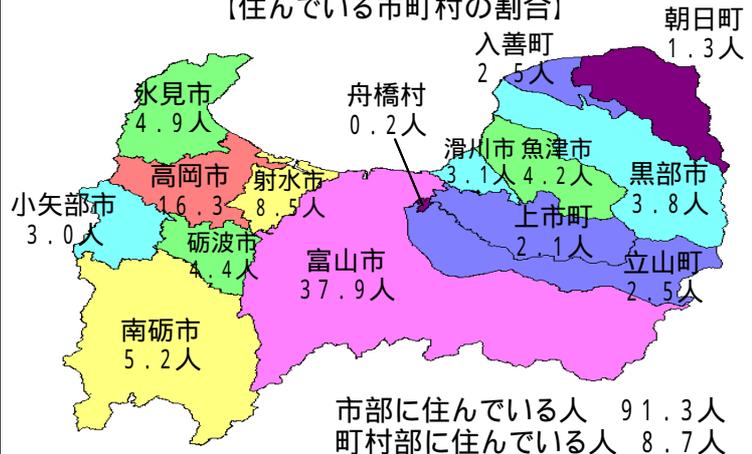
男性 48.2人
女性 51.8人
女性のほうが3.6人多い。

【年齢3区分の割合】

年少人口 13.5人
(15歳未満)
生産年齢人口 63.3人
(15歳～64歳)
老年人口 23.2人
(65歳以上)
(うち、75歳以上の方は11.4人)
生産年齢人口の2.7人で
1人の高齢者を支えている。



【住んでいる市町村の割合】



この資料は全て、平成17年国勢調査のデータを基に作成しました。国勢調査は全数調査のため、このような数値を出すことも可能です。そのためには、重複なく、漏れなく調査を実施することが大切です。

3 終わりに

平成22年10月1日に全国いっせいに国勢調査を実施します。国勢調査は、日本に住んでいるすべての人を対象として行う最も基本的な調査です。国勢調査をもっと知っていただくために今後も色々なデータをご紹介します。